

第17回未来医療セミナー

演題：歯周組織再生療法の現状と将来展望

演者：大阪大学大学院歯学研究科
口腔分子免疫制御学講座
歯周病分子病態学・歯周病診断制御学分野 教授
村上 伸也 先生

《要旨》

我が国では、成人の8割以上が歯周病に罹患しているといわれています。そして歯周病は成人が歯を失う一番の原因になっています。従来から行われてきた治療法では、歯周病の進行を食い止めることはできても、歯周病の進行により失われた歯の支持組織（歯周組織）を元通り再生することは不可能と考えられてきました。近年、歯根周囲の靱帯組織（歯根膜）の中に未分化間葉系幹細胞が成人になっても存在することが証明され、歯周組織再生療法樹立への期待が高まっています。今回のセミナーでは、歯周組織再生療法の実情についてお話しさせて頂くとともに、塩基性線維芽細胞増殖因子(basic fibroblast growth factor: FGF-2)を応用した新規歯周組織再生療法開発の現状について紹介させていただきます。

日 時：2006年1月25日(水) 18:00より

場 所：大阪大学医学部附属病院 外来棟4階第1カンファレンス室

連絡先：未来医療交流会(大阪大学 医学部附属病院 未来医療センター内)

Tel：06-6879-6557,6552, Fax：06-6879-6538

E-mail：koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

協 賛：21世紀COE「細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成」

-Center for Integrated Cell and Tissue Regulation-